

新たな歩みに… 卒業生たちの願い

来月の3月11日で東日本大震災からちょうど6年が経とうとしています。6年前のあの日、私たちは小学校から中学校に進学する年齢でした。あの日の記憶は鮮明です。私たちがどのような思いで被災した方々に寄り添った活動をしてきたのか、またこれからも続けていく上で伝えたいことをメッセージとして届けます。

ボランティアを通じて、人との関わりや自分のためだけでなく相手のことを思い行動することの大切さを学びました。自分の名誉のためにボランティアをしているわけでは無かったけれど、^{自分}何のためにボランティアをしているのかと葛藤を繰り返すことが何度もありました。卒業が近づくにつれて、「ただ、助けたい」という思いが支援をするということに興味があるんだ。と感じるようになってきた。被災地の支援だけでなく、身の周りの困っている人に会い、助けをあげることを、^{自分}頼りにしていいしてほしいです。

岩本 真奈さん



三升 巴菜さん



私が入った理由は、6年前にテレビで見て自分に何かできないかと思ったからです。アナウンサーみたいに現地に行けないし、どうしたらボランティアをできるか考えた結果東日本大震災被災地実行委員会に入社ことを決意しました。初代の時から入っていて、初代の先輩たちの気持ちを知っている、それを継ぐという気持ちで6年間活動してきました。なので後輩たちにこれからも来永くボランティアして行ってほしいと思います。

江城 葵さん

私は、人事がはやく、自分に何かできることがあれば深く学びたいと思います。東日本大震災被災地応援実行委員会に入りたいの。委員会活動と委員の役割を知りたい。前回より多く集まると、嬉しいが、もしも甲斐を感じない場合は私の思いは必ず伝わると思います。それがあれば継続の意を続けたいです。♡



森脇 侑さん

この委員会には50名近くの生徒が在籍していることが私にとりとても嬉しいです。私達も先輩方から受けつきたバトンを後輩のみなさんにたたくします。復興のために自分達に何かできるか考え行動にうつす、そして思いの長い支援を目指して行きます。

私がここに入ったのは、少しでも早く復興してほしい、こいつは自分に何か出来ることではないか、と思ったからです。私は会計を担当していたのですが毎月集計してみたら基金額が上がるとみんながこいつにも、想ってくれてるんだと思ってくれちゃったです。でも基金だけじゃなく何か他に行動することに意味があると思ってるのでもし入ろうか迷っていたらぜひ入ってほしいです。そしてこれからも東日本大震災被災地応援実行委員会を続けてほしいです。

矢田 まいあさん



田中 琴音さん



私が東日本大震災被災地応援実行委員会の活動に参加したきっかけは友人の誘いからです。6年前に見た映像ほどから、何か行動を起こしたいという思いはあったも、何をしたら良いのかわからず"にいました。実際に活動を行っている同年代の姿を見て、小さなお子からでも始められるという事に気付きました。迷っている人はぜひ活動に挑戦して、思いをカタチにしてください。

阪本 こころさん



私が東日本大震災被災地応援実行委員会に入ったのは、私が小学校6年生の時に津波の映像をテレビで見ると何かに焦らなさいと叫ぶ映像がきっかけです。そして、数ヶ月後、平野学園に入学し、東日本大震災被災地応援実行委員会があり、即参加したいけど、何をしたいかわからなかった自分には、ここに入り、何か被災地のために焦らなさいと叫び入りました。在校生の皆さんには"焦らなさいと行動"をモットーにこれからもこの委員会の一員として頑張ってください。

井上 直美さん



私が実行委員会に入ったきっかけは、委員長の岩本さんの誘いを受けて、でした。私は外部生だったので、この委員会が何かわからず活動に参加したから、続けていく内に被災地の現状、テレビや新聞ではあまり取りあげられない事柄が、身近で知ることができ、この活動の大切さを知りました。後輩のみなさんにはもっとこの委員会を活動にして被災地へ気遣いを送りつづけてほしいです。

委員会のロゴが出来上がりました！！

卒業する高校三年生の実行委員たちが、新しく委員会のロゴを考案し、新応援グッズを作製しました。ロゴ入りボールペン&付箋です。2月末から販売します。みなさん、是非、期待してお待ちください。そして、買ってください。また東日本大震災、熊本大地震からの復興支援を手助けしてくれる新メンバーを常時募集しています。「あなたができる事を、できる範囲で」応援して下さい。

